平成27年度
みなさんにおすすめしたい本

板橋区立小学校図書館研究部
板橋区立図書館児童担当者会

平成27年度　みなさんにおすすめしたい本

中学年向け

板橋区立小学校図書館研究部
板橋区立図書館児童担当者会

	No	書　　　　名	著　者	出　版　社	請求記号
物語	1	いのちのおはなし	日野原　重明	講談社	E/ｺ
	2	ありがとう、フォルカーせんせい	パトリシア・ポラッコ	岩崎書店	E
	3	きつねにょうぼう	長谷川　摂子（再話）	福音館書店	E
	4	きみがおしえてくれた。	今西　乃子	新日本出版社	E
	5	「けんぽう」のおはなし	井上　ひさし	講談社	E
	6	ことばメガネ	アーサー・ビナード	大月書店	E
	7	さくら	田畑　精一	童心社	E
	8	さみしかった本	ケイト・バーンハイマー	岩崎書店	E
	9	たかこ	清水　真裕	童心社	E
	10	津波!!命を救った稲むらの火	小泉　八雲（原作）	汐文社	E
	11	ピース・ブック	トッド・パール	童心社	E
	12	１つぶのおこめ	デミ	光村教育図書	E
	13	やまなしもぎ	平野　直（再話）	福音館書店	E
	14	かあちゃん取扱説明書	いとう　みく	童心社	91ｲﾄ
	15	アヤカシ薬局閉店セ～ル	伊藤　充子	偕成社	91ｲﾄ
	16	おかえり！盲導犬ビーン	井上　こみち	佼成出版社	91ｲﾉ
	17	カメレオンのレオン　つぎつぎとへんなこと	岡田　淳	偕成社	91ｵｶ
	18	ベラスノアとキックオフ!	片平　直樹	福音館書店	91ｶﾀ
	19	３年１組ものがたり　ジュン先生がやってきた！（ほか４冊）	後藤　竜二	新日本出版社	91ｺﾄ
	20	じいちゃんの森　森おやじは生きている	小原　麻由美	ＰＨＰ研究所	91ｺﾊ
	21	おコン草子	齋藤　飛鳥	童心社	91ｻｲ
	22	ぼくとあいつのラストラン	佐々木　ひとみ	ポプラ社	91ｻｻ
	23	タネオがきた	すとう　あさえ	文研出版	91ｽﾄ
	24	ぼくたちはいつまでも	関谷　ただし	そうえん社	91ｾｷ
	25	とんだトラブル!?タイムトラベル	友乃　雪	岩崎書店	91ﾄﾓ

☆リスト作成にあたっては次のようなことをめやすとして本を選びました。
1　たのしく、おもしろく読め、子どもの気持ちにあった親しみやすい本。
2　子どものねんれいに合った、読みやすく夢のある本。
3　名作読み物は、一般的によく知られているのでできるだけ省きました。

読書は、人生をより深く生き抜く力を身につけます。より多くの本との出会いを重ねるよう願っています。今回も皆さんが本を選ぶ何らかの手がかりになるようにと区内の小学校の先生と区立図書館の児童担当者の手でこの一覧表（改訂版）を作成しました。また、このほかにもよい本がたくさんありますので、自分の目で確かめて選んでみましょう。

	No	書　　　名	著　者	出　版　社	請求記号
物語	26	うさぎの庭	広瀬　寿子	あかね書房	91ﾋﾛ
	27	天風の吹くとき	福　明子	国土社	91ﾌｸ
	28	世界で一番のねこ	藤野　恵美	アリス館	91ﾌｼ
	29	夜明けの落語	みうら　かれん	講談社	91ﾐｳ
	30	ガチャガチャ☆GOTCHA！～カプセルの中の神さま	宮下　恵茉	朝日学生新聞社	91ﾐﾔ
	31	百まいのドレス	エレナー・エスティス	岩波書店	93ｴ
	32	なんでももってる（？）男の子	イアン・ホワイブラウ	徳間書店	93ﾎ
	33	ハンナの学校	グロリア・ウィーラン	文研出版	93ﾎ
	34	うちはお人形の修理屋さん	ヨナ・ゼルディス・マクドノー	徳間書店	93ﾏ
	35	オリバー、世界を変える！	クラウディア・ミルズ	さ・え・ら書房	93ﾐ
	36	あたしが部屋から出ないわけ	Ａ・クーテュール	文研出版	95ｸ
	37	ナディアおばさんの予言	マリー・デプルシャン	文研出版	95ﾃ
ことば・詩	38	絵本　かがやけ･詩（全５巻）	小池　昌代/編	あかね書房	E
	39	それほんとう？	松岡　享子	福音館書店	91ﾏﾂ
社会・自然科学	40	風をつかまえたウィリアム	ウィリアム・カムクワンバ	さ・え・ら書房	E
	41	どうやって作るの？ パンから電気まで	オールドレン・ワトソン	偕成社	E
	42	おかえり、またあえたね	石井　光太	東京書籍	36
	43	ここにも、こけが…	越智　典子	福音館書店	47
	44	うちの近所のいきものたち	いしもり よしひこ	ハッピーオウル社	48
	45	海野和男のワクワクむしずかん（全８巻）	海野　和男	新日本出版社	48
	46	なぞのサルアイアイ	島　泰三	福音館書店	48
	47	ホネホネたんけんたい（ほか２冊）	西澤　真樹子	アリス館	48
	48	ヤマネさん　お山にかえるまで	西村　豊	アリス館	48
	49	追跡！なぞの深海生物	藤原　義弘	あかね書房	48
	50	ぼくは、いつでもぼくだった。	いっこく堂	くもん出版	77

※本年度青少年読書感想文全国コンクール（全国学校図書館協議会・毎日新聞社主催）の課題図書は発表があり次第お知らせします。

本の紹介

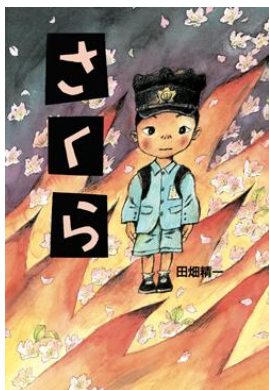
「きみがおしえてくれた。」
今西乃子/文
加納果林/絵
新日本出版社

飼い犬の力丸と散歩している時、ひな子は一人のおばあさんに声をかけられました。その人は力丸にそっくりな富士という犬を昔飼っていたと言いますが、戦争が始まり…。
戦争について、大切なものについて考える絵本。

「『けんぽう』のおはなし」
井上ひさし/原案
武田美穂/絵
講談社

きみは世界でたったひとり。
だれともとりかえがきかない。
だからだいじ。一人ひとりみんなだいじなのです。
作家・井上ひさしが、憲法への思いをやさしく語ります。

「ことばメガネ」
アーサー・ビナード/文
古川タク/絵
大月書店

いつもの商店街のメガネ屋で英語メガネのおためしをしてみた。世界が英語のレンズでみえてくる。文化の違いをメガネで現した本。

「さくら」
田畑精一/作
童心社

桜の季節に生まれた「ぼく」。成長するにつれ、お国のために死のうと軍国少年に育っていった。
戦時中の日本、日本が外国にした事、戦後貧乏に見舞われた日本の現状を、「ぼく」の成長と「さくら」を通して描く。

「たかこ」
清水真裕/文
青山友美/絵
童心社

やってきた転校生のたかこは、昔の人のかっこうをして、おかしなことばを話す女の子。となりの席のぼくはなかよくなったけど、みんなとちがうたかこをよく思っていないクラスの子もいる。そんな中、遠足で…。

「津波!!命を救った稲むらの火」
小泉八雲/原作
高村忠範/文・絵
汐文社

小さな村で地震が起きました。長者の五兵衛さんだけがいつもと違う海の様子に気づきます。すると、五兵衛さんはとつぜん大事に育てた稲むらに火をつけて…。
江戸時代の津波の絵本。

「１つぶのおこめ」
デミ/作
さくまゆみこ/訳
光村教育図書

昔ある王様が、人々の作ったお米をひとり占めしてしまう。そこでひとりの賢い村娘のとった方法とは…。楽しく学べる算数にまつわるインドの昔話。

「やまなしもぎ」
平野直/再話
太田大八/画
福音館書店

「おくやまのやまなしがたべたいな」
体の具合の悪いお母さんの言葉から三人の兄弟が順番に山へやまなしをとりに出かけて行きます。道の途中、ひとりの不思議なおばあさんに出会い…。物語の不思議さと、力強さのある傑作昔話絵本。

「かあちゃん取扱説明書」
いとうみく/作
佐藤真紀子/絵
童心社

怒られてばかりの哲哉はお母さんの取扱説明書を作ることを思いつく。ためしてみると大成功！けれど取扱説明書を完成させるためにお母さんをよく知っていくうちに知らなかったお母さんにであったり、怒ってばかりではなかったことを思い出す。

「アヤカシ薬局閉店セ〜ル」
伊藤充子/作
いづのかじ/絵
偕成社

近くにできたドラッグストアのせいで、お客がこなくなった薬局がセールを始めると、次から次へとおかしな出来事が…。商店街にある閉店間近のアカシヤ薬局で起こる不思議でユーモラスなお話し。

「おかえり！盲導犬ビーン」
井上こみち/文
広野多珂子/絵
佼成出版社

リョウタの家に、盲導犬候補の子犬がやってきた！やんちゃで可愛いビーンと楽しい日々を過ごすリョウタですが、やがてお別れの日が訪れて…。絆を描く感動の実話。

「カメレオンのレオン
つぎつぎとへんなこと」
岡田淳/作
偕成社

桜若葉小学校を中心に次々と起こる不思議な事件。事件はどんどんエスカレートしていき、ついに探偵レオンが動き出す！
探偵レオンは、本当の犯人を倒すことができるのか？

「ベラスノアとキックオフ！」
片平直樹/作
平澤朋子/画
福音館書店

ぼくはサッカーが大好きな小学５年生。将来の夢は地元チームのサッカー選手。ところがそこへ長年外国生活をしていた父親が返ってきた。なんとその姿はワニだったんだ。

「3 年１組ものがたり
ジュン先生がやってきた！」
後藤竜二/作
福田岩緒/絵
新日本出版社

3 年１組に、新しい先生がやってきました。名前はジュン先生です。学校では楽しいことも悲しいこともあるけれど、ジュン先生とみんなの、元気がたくさんつまったお話です。他のシリーズもでています。

「じいちゃんの森
森おやじは生きている」
小原麻由美/作
黒井健/絵
ＰＨＰ研究所

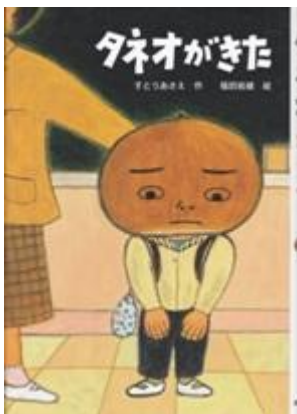
田舎のじいちゃんの家に引っ越した主人公たいち。森をとても大切にするじいちゃんと樹齢五百年は経つ「森おやじ」とふれあっていくうち、たいちにも森を大切にする気持ち・森の力強さが伝わっていく。

「おコン草子」
齊藤飛鳥/作
ナツコ・ムーン/絵
童心社

キツネと人間の間に生まれた、おひげの女の子・おコンは、長者さまの末息子・弥兵の命を助けるためにひとり旅立ちます。目指す先は、おっかない化け物どもが出るイラズ山。はたして、おコンの運命は…。

「ぼくとあいつのラストラン」
佐々木ひとみ/作
スカイエマ/絵
ポプラ社

ジイちゃん・流れ星・おわかれ・ヒサオ・宝もの・ユウコ・あのひと・おくりもの・バトン…。大好きなジイちゃんの葬式の日、あいつがぼくのまえにあらわれた。
大切な人の死をうけいれるまでを温かくさわやかに描く。

「タネオがきた」
すとうあさえ/作
福田岩緒/絵
文研出版

熊本から東京へひっこすことになり、はりきる両親と入院してしまったひいじい。ひいじいが良くなる事を信じてクヌギの実を土の少ない東京で植えてふやしていく。
一生懸命なタネオにクラスメートや地域の人々が力をかしてくれる。

「とんだトラブル!?
タイムトラベル」
友乃雪/作
おかべりか/絵
岩崎書店

12 歳のぼくの前に、5 歳、22 歳の「ぼく」がタイムスリップしてきた！科学者で発明家の父さんのアイデアと、未来の平和を守るため、3 人は力を合わせてひみつの計画を実行する。

「うさぎの庭」
広瀬寿子/作
高橋和枝/絵
あかね書房

飼っているうさぎのチイ子にだけ心を打ち明けられる修。転校してしまったクラスメイト、古い洋館に住むおばあさん、人との交流の中で成長していく少年の心を優しく描いた物語。

「天風の吹くとき」
福明子/作
小泉るみ子/絵
国土社

おじいちゃんの住む空中砦の街には、空を飛ぶ勇者の言い伝えがある。林子は、小さな胸に大きな秘密をかかえて、たったひとりで街にやってきた。そんな林子に、一太は「風の祭り」を見せたいと願うが…。

「夜明けの落語」
みうらかれん/作
大島妙子/絵
講談社

小学 4 年生の暁音（あかね）は人前で話すのが何より苦手。ある時みんなの前でするスピーチのことで悩んでいる暁音にかわって、三島くんが落語を演じてくれた。それをきっかけに三島くんと仲よくなった暁音は…。

「ガチャガチャ☆GOTCHA！
～カプセルの中の神さま」
宮下恵茉/著
朝日学生新聞社

「願いをかなえてくれる神さま」が入ったふしぎなカプセルトイ。
レバーをまわすと、自分だけの神さまが出てくる。神さまに出会った５人の子どもたちが悩みをかいけつしたり、願いをかなえようとする 5 つの物語。

「なんでももってる（？）男の子」
イアン・ホワイブラウ/作
石垣賀子/訳
すぎはらともこ/絵
徳間書店

大金持ちのナンデモモッテル家の一人息子フライが 7 才の誕生日にもらったものはお菓子よりもおもちゃよりもステキなもの!?ごく普通の家の少年ビリーと出会ったフライは…。

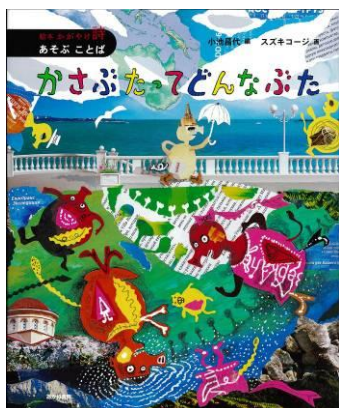
「うちはお人形の修理屋さん」
ヨナ・ゼルディス・マクドノー/作
おびかゆうこ/訳
杉浦さやか/絵
徳間書店

人形の修理屋の娘で 9 歳のアナは、3 人姉妹。人形で遊ぶのが大好きだが、ヨーロッパで大きな戦争がはじまり、両親は店を続けられなくなってしまう。何か力になりたいと考えたアナは、新しい人形を作ることを思いつく。

「オリバー、世界を変える！」
クラウディア・ミルズ/作
渋谷弘子/訳
菅野博子/絵
さ・え・ら書房

病気がちでなんでも両親にやってもらうことが当たり前だったオリバー。準惑星になった冥王星を活発なクラスメートといっしょに調べるうちに、少しずつ変わっていく。

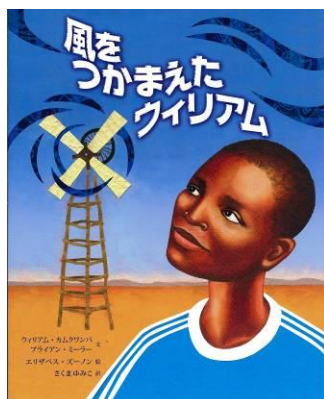
「あたしが部屋から出ないわけ」
アメリー・クーテュール/作
末松氷海子/訳
小泉るみ子/絵
文研出版

サマー・スクールへ行かされるのもいや。だい好きなおばあちゃんが死んじゃったのもいや。だから、あたしは自分の部屋にとじこもってストライキをする。あたしを元気づけてくれるのはおばあちゃんがくれた小鳥だけ…。

「絵本　かがやけ・詩
かさぶたってどんなぶた」
小池昌代/編
スズキコージ/画
あかね書房

笑っちゃうような詩、ドキリとする詩、声に出すと楽しい詩、これって自分のこと？と感じる詩など、色々な詩がのっています。タイトルによってテーマや絵を描いている人も違うのでお気に入りの１冊を見つけてね。

「それほんとう？」
松岡享子/文
長新太/絵
福音館書店

「あめりかうまれのありのありすさん」「いじわるでいじっぱりのいそぎんちゃく」
さあ、声に出してスラスラ読めるかな？思わず声に出して読みたくなる楽しい言葉遊びがたくさんのっています。

「風をつかまえたウィリアム」
ウィリアム・カムクワンバ/文
ブライアン・ミーラー/文
エリザベス・ズーノン/絵
さくまゆみこ/訳
さ・え・ら書房

アフリカのマラウィに暮らすウィリアム。食べ物もお金もなく、学校へ行くことが出来ない苦しい中、図書館で１冊の科学の本に出会い風車作りに挑戦する。

「おかえり、またあえたね」
石井光太/文
櫻井敦子/絵
東京書籍

主人公のトトは貧しい暮らしをしているストリートチルドレン。たくさんの困難を乗り越えながら力強く生きていく少年の冒険と成長のストーリー。

「ここにも、こけが…」
越智典子/文
伊沢正名/写真
福音館書店

毎日みている道でも、立ち止まってよく見てみるとこけが生えていることに気づく。
いろんなこけのいろんな写真がいっぱい！

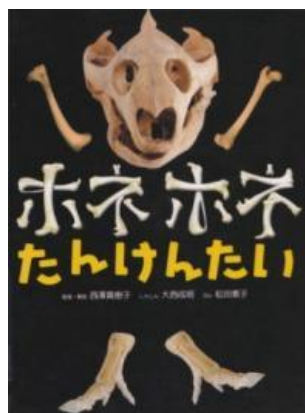
「うちの近所のいきものたち」
いしもりよしひこ/著
ハッピーオウル社

散歩の途中や学校の庭などでであった虫や生きものたち。どんな生きものだろう？と少しでも思ったら、この本を読んでみてください。身近にいる生きものたちの、おもしろい生活がのぞけますよ。

「海野和男のワクワクむしずかん」
海野和男/写真・文
新日本出版社

普段、見て知っているつもりでも知らなかった虫の体やたまごから幼虫、幼虫からさなぎ、さなぎから成虫になるまでなどを、写真とともに紹介します。

「ホネホネたんけんたい」
西澤真樹子/監修・解説
大西成明/写真
松田素子/文
アリス館

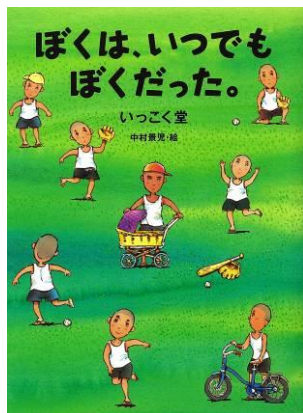
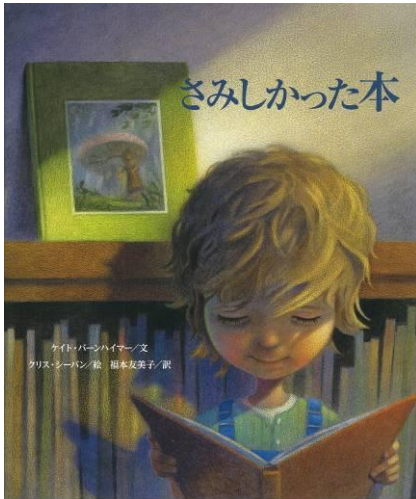
ヘビのしっぽはどこ？
ウサギのしっぽはホネがある？
鳥のあたまのホネはスカスカ？
クジラのひれには指がある？
などなど、ホネのひみつをみんなでさがそう。

「ヤマネさん　お山にかえるまで」
西村豊/写真・文
アリス館

国の天然記念物であるニホンヤマネ。自然豊かな場所で生活しているその小さな生き物の愛らしい姿や生態、特徴などを写真で紹介。全ての生き物の命についてメッセージが込められている。

「追跡！なぞの深海生物」
藤原義弘/写真・文
野見山ふみこ/文
あかね書房

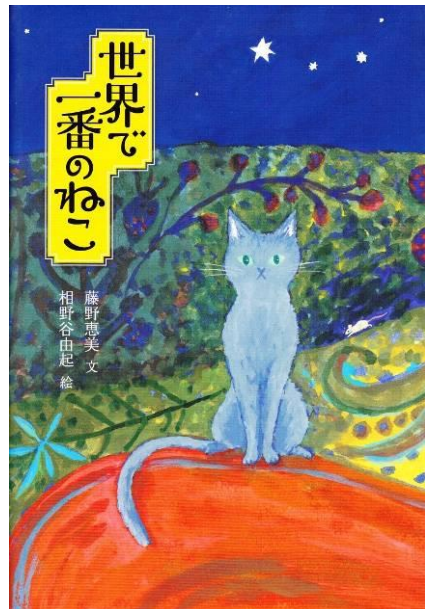
探査船「しんかい 6500」が見た深い海の中には、光る生きものや大きな口をしたもの、体が透けている魚など、だれも知らない不思議な生きものがいっぱい。

「ぼくは、いつでもぼくだった。」
いっこく堂/著
中村景児/絵
くもん出版

幼い頃主人公が引っ越した沖縄は、まだ「外国」だった。米軍基地に忍び込んで遊んだ小学生時代、仲間外れに苦しんだ中学校時代…。その中で、腹話術との運命的な出会いを果たす。

あたらしい本です

「さみしかった本」
ケイト・バーンハイマー／文
クリス・シーバン／絵
福本友美子／訳
岩崎書店

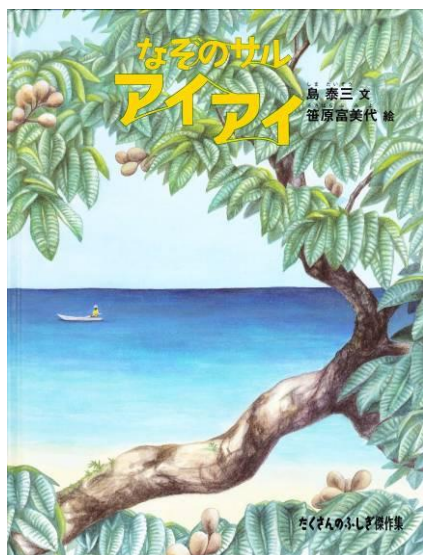
時間がたって誰からも読まれなくなった図書館の１冊の本。
一人の女の子がその本と出会い、物語の世界に夢中になります。
けれど、古くなってしまった本は売りに出されることに…。

「世界で一番のねこ」
藤野恵美/文
相野谷由起/絵
アリス館

エトワールはコンテストで一等賞に選ばれた、世界で一番美しいねこ。
ところがある日、ひふの病気になってすてられてしまいます。
生きるためにみつけたねずみとりの仕事。エトワールはねずみとりで一番をめざします。

「ハンナの学校」
グロリア・ウィーラン／作
中家多恵子／訳
スギヤマカナヨ／絵
文研出版

ハンナは目が見えない『かわいそうな』女の子。目が見えないから学校にも行っていない。
新しい先生、ロビン先生との出会いにより、ハンナははじめて学校に行くことになって…

「どうやって作るの？
パンから電気まで」
オールドレン・ワトソン／作
竹下文子／訳
偕成社

チョコレートやゴム、電気など普段使っているものが実はどう作られているのかがわかる本。作るもとになる材料やどんな機械を使ってできるのか絵で分かるようになっていて、〝ものづくり〟への興味を深める一冊。

「なぞのサルアイアイ」
島泰三／文
笹原富美代／絵
福音館書店

“おさるさん”の歌に出てくる＜アイアイ＞ってどんな動物なの？
サルの仲間、右手と左手の秘密、ラミーの木など、謎がいっぱいの生活をのぞいてみよう。